

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

別紙 1

申請者（本人）について

国籍等	日本国 ・ 日本国以外	
	(国籍が「日本国以外」の人のみ回答)	
	永住者・法定特別永住者・日本人の配偶者等・ 永住者の配偶者等・定住者	
	在留資格	期限在留 (在留資格が「法定特別永住者」、 「永住者」以外の人のみ回答)
		(西暦) 年 月
意思 永住する 日本に	(在留資格が「定住者」の人のみ回答) あり ・ なし	
申請者 (本人)	在学・履歴情報 (通っていた進学前の高等学校等のうち最初に卒業した学校について) ※高卒認定試験合格者等の場合は、試験名と合格年月を記入してください。	
	学校名 (出身学校名)	
	卒業年月	年 月
	あなたは、本学の1年次に入学しましたか。(転入学により本学院の2年次以上に入学した場合は「いいえ」を選んでください。	
	はい ・ いいえ	
	(上記「いいえ」と答えた人のみ回答)	
	本学院に転入学する前に在学していた学校へ入学した年月	
	(西暦) 年 月	
	本学院に転入学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月	
	(西暦) 年 月	

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

	<p>本学院に転入学する前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が2つ以上ありますか。</p>
	<p>はい                      ・                      いいえ</p> <p>(※) 「はい」と答えた人は、別紙2をあわせて提出してください。</p>
施設等 在籍 状況	<p>あなたは社会的養護を必要とする、あるいは高等学校等在籍時に必要としていた人ですか。</p>
	<p>はい                      ・                      いいえ</p>
	<p>(上記「はい」と答えた人のみ回答)</p>
	<p>児童養護施設に入所・児童自立支援施設に入所・ 児童心理治療施設に入所・自立援助ホームに入所・里親に養育・ ファミリーホームで養育</p>
<p>日本学生支援機構奨学金の利用有無について</p> <p>※現在、利用している場合は奨学生番号を記入してください。</p>	
	<p>奨学生番号</p>

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

### 生計維持者について

同一世帯に父母ともいる場合、収入の有無に関わらず、必ず父母とも「生計維持者」の欄に記入してください。

(生計維持者とは、申請者の家計を支えている者であり、原則父母としています。父母がいない場合は、代わって生計を維持している者となります。(最大2名))

生計維持者 1	フリガナ		申請者 との続柄			
	氏名					
	現住所	( <input type="checkbox"/> 申請者と同じ場合は左に✓を入れてください。)				
		〒	—			
	生年月日	(西暦)	年	月	日生 ( 歳)	
	年の1月1日時点で生活保護法の生活扶助を受給している。			はい	・	いいえ
	年の1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある。			はい	・	いいえ

生計維持者 2	フリガナ		申請者 との続柄			
	氏名					
	現住所	( <input type="checkbox"/> 申請者と同じ場合は左に✓を入れてください。)				
		〒	—			
	生年月日	(西暦)	年	月	日生 ( 歳)	
	年の1月1日時点で生活保護法の生活扶助を受給している。			はい	・	いいえ
	年の1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある。			はい	・	いいえ

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

## 資産の申告

申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）の資産の合計は 2,000 万円未満（生計維持者が 1 人の場合は 1,250 万円未満）ですか。	はい ・ いいえ
---	----------

※ 「いいえ」を選んだ場合は、基準を満たしていないため、授業料等減免を受けられません。

申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）の資産額 （1 万円未満は切り捨てて記入）	申請者（あなた）	生計維持者 1	生計維持者 2

※ 申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）に関する市町村発行の最新の「住民票の写し」及び「課税証明書」（原本）を添付してください。課税証明書には、次の項目が記載されていることが必要です。

①課税標準額 ②調整控除額 ③調整額 ④扶養親族の数 ⑤合計所得金額 ⑥総所得金額等 ⑦本人該当区分

※ 申請者や生計維持者のいずれかが生活保護法の生活扶助を受給している場合には、1月1日時点の生活保護受給証明書を添付してください。

※ 社会的養護を必要とする、あるいはしていた方は、生計維持者の欄は記入不要です。児童養護施設等の在籍又は退所証明書を添付してください。

※ 外国籍の方は、在留資格及び在留期限がわかる証明書を添付してください。

※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学院が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

別紙2

### 転入学の履歴

本学院に転入学する前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が2つ以上ある場合は、本紙を提出してください。

○転入学とは、ある学校から別の学校の2年次以上に入学する場合をいいます。

※ 例えば、ある大学の1年次を修了した後、別の大学の2年次に入学する場合はこれに該当します。（ただし、ある大学の1年次を修了した後、1年以上を経過して、別の大学の2年次に入学した場合は、含まれません。）

※ 別の学校の1年次に再入学するものは含みません。

※ 「学校」は、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校を指します。

	入学年月	在籍していた最終年月
はじめて入学した学校	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
2つ目の学校	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
3つ目の学校	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
4つ目の学校	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
5つ目の学校	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月

家計の急変に係る申告書

生計維持者1	氏名		続柄		
	家計急変の事由				
	生計維持者1の状況について、下記のうち該当するものを選択してください。 <input type="checkbox"/> A：死亡 <input type="checkbox"/> B：怪我又は病気のため、半年以上、就労が困難 <input type="checkbox"/> C：失職（失業） ※定年退職や正当な理由のない自己都合退職などを除く。 <input type="checkbox"/> D：震災、火災、風水害等に被災 <input type="checkbox"/> E：A～Dのいずれにも該当しない（事由が発生していない）				
	家計急変の事由が発生した年月 （上記でA～Dを選んだ人は記入してください）		（西暦）	年	月
	上記「家計急変の事由」で、「D：震災、火災、風水害等に被災」を選択した場合、以下を記入してください。				
	<u>災害の内容</u> （該当するものを選んでください） <input type="checkbox"/> 地震、風水害、噴火等の自然災害 <input type="checkbox"/> 火災又は爆発等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	<u>申込時点での状況</u> <input type="checkbox"/> 被災により死亡 <input type="checkbox"/> 被災により生死不明（行方不明） <input type="checkbox"/> 被災により就労困難				
（上記で「被災により就労困難」を選んだ人は記入してください） <u>就労困難の理由</u> <input type="checkbox"/> 被災による傷病 <input type="checkbox"/> 災害の影響で勤務先（又は経営している会社）が倒産、廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で自営業を廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で通勤困難（道路の崩落、公共交通機関の長期運休等） <input type="checkbox"/> その他（ ）					

※「B：怪我又は病気のため、半年以上、就労が困難」に該当する被雇用者の場合、（別紙4）をあわせて提出してください。

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

※生計維持者が1名のみである場合は、下表は記入不要です。

生計維持者2	氏名		続柄		
	家計急変の事由				
	生計維持者2の状況について、下記のうち該当するものを選択してください。 <input type="checkbox"/> A：死亡 <input type="checkbox"/> B：怪我又は病気のため、半年以上、就労が困難 <input type="checkbox"/> C：失職（失業） ※定年退職や正当な理由のない自己都合退職などを除く。 <input type="checkbox"/> D：震災、火災、風水害等に被災 <input type="checkbox"/> E：A～Dのいずれにも該当しない（事由が発生していない）				
	家計急変の事由が発生した年月 （上記でA～Dを選んだ人は記入してください）		（西暦）	年	月
	上記「家計急変の事由」で、「D：震災、火災、風水害等に被災」を選択した場合、以下を記入してください。				
	<u>災害の内容</u> （該当するものを選んでください） <input type="checkbox"/> 地震、風水害、噴火等の自然災害 <input type="checkbox"/> 火災又は爆発等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	<u>申込時点での状況</u> <input type="checkbox"/> 被災により死亡 <input type="checkbox"/> 被災により生死不明（行方不明） <input type="checkbox"/> 被災により就労困難				
（上記で「被災により就労困難」を選んだ人は記入してください） <u>就労困難の理由</u> <input type="checkbox"/> 被災による傷病 <input type="checkbox"/> 災害の影響で勤務先（又は経営している会社）が倒産、廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で自営業を廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で通勤困難（道路の崩落、公共交通機関の長期運休等） <input type="checkbox"/> その他（ ）					

※「B：怪我又は病気のため、半年以上、就労が困難」に該当する被雇用者の場合、（別紙4）をあわせて提出してください。

※ 給付型奨学金を申し込まず、授業料等減免のみ申請する場合に提出

本人	氏名		
	家計急変の事由		
	本人の状況について、下記のうち該当するものを選択してください。 ----- <input type="checkbox"/> B：怪我又は病気のため、半年以上、就労が困難 <input type="checkbox"/> C：失職（失業） ※定年退職や正当な理由のない自己都合退職などを除く。 <input type="checkbox"/> D：震災、火災、風水害等に被災 <input type="checkbox"/> E：B～Dのいずれにも該当しない（事由が発生していない）		
	家計急変の事由が発生した年月 （上記でA～Dを選んだ人は記入してください）	（西暦）	年 月
	上記「家計急変の事由」で、「D：震災、火災、風水害等に被災」を選択した場合、以下を記入してください。		
	<u>災害の内容</u> （該当するものを選んでください） <input type="checkbox"/> 地震、風水害、噴火等の自然災害 <input type="checkbox"/> 火災又は爆発等 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	<u>申込時点での状況</u> <input type="checkbox"/> 被災により就労困難 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
（上記で「被災により就労困難」を選んだ人は記入してください） <u>就労困難の理由</u> <input type="checkbox"/> 被災による傷病 <input type="checkbox"/> 災害の影響で勤務先（又は経営している会社）が倒産、廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で自営業を廃業又は一時的に休業 <input type="checkbox"/> 災害の影響で通勤困難（道路の崩落、公共交通機関の長期運休等） <input type="checkbox"/> その他（ ）			



## 休職証明書

(宛先) さいたま市長

氏名	
生年月日	年 月 日
住所	
所属 (職名)	
休職理由	
休職期間	休職開始日 年 月 日
	休職終了日 年 月 日
	※終了日が確定していない場合は、「予定の終了日」又は「未定で終了予定日が記載できない」とご記入ください。
休職中の給与	休職中の給与 有給 / 無給
	■有給の場合の給与月額支払額 円
	※休職中の給与について、有給又は無給どちらかに○をつけてください。 ※有給の場合の給与月額支払額を記載されない場合は、給与規定を添付してください。

上記のとおりであることを証明します。

年 月 日

&lt;証明者&gt;

【住所】

【勤務先】

【役職・氏名】

⑩